

て共同体をつくっています。会員は各地に散在し、一人で又は数人で、あるいは自分の家族と社会の普通の条件において生活しますが、それぞれの奉獻生活を確かなものとなるように、互いが助け合い支えあうような共同体をめざしています。

聖母カテキスタ会から

聖マリア在俗会に

聖座法による在俗会の会憲を力強く実践することを目ざして実生活を通して問い直していく中で、名称について考えることがでてきました。五十年近く聖母カテキスタ会の名のもとに呼び集められ、養成をうけてその使命に生きてきた会員にとつては重い課題でした。

カテキスタ（要理教師）は職業名であり、日本カテキスタ会と混同されることもあった。又教会でカテキスタとして働く会員も減少している現状もふまえながら在俗会員として使命を果たしていく中で具体的な意識改革や刷新についても自由に意見交換されました。十年の歳月を経て、二〇〇四年の総会で「カテキスタ」を除くこと

が決まりました。その後、全会員の意見を集約しながら「聖マリア在俗会」が決定され聖省の承認も得ました。日本の文化庁で変更手続きがされて二〇〇六年十二月二十四日より正式に使用することになりました。

会員は聖マリアの絶えざるご保護のもとで世俗の生活に追われながらも常に聖子との深い一致、すべての出来事を心に思い合わせて神のみ旨が行われるようにと、ひたすら祈っておられた母マリアの姿に、会員は世の拠点に根ざした観想の祈りに導かれて人々の中で奉獻をゆたかに生きたいと励んでいます。



『不思議発見シリーズⅡ』

ヤコボ 後藤 明憲

「AVE ADMIRABILE COR JESU」と祭壇にラテン語が刻まれています。不思議でもなんでもありませんが、どういう意味なのかを探ってみました。日本語に訳すと「いつくしみ深いイエズスの聖心」ということになります。この教会はイエズスの聖心に捧げられ、昔から「みこころ教会」と呼ばれ、親しまれてきました。祭壇に刻まれたこの言葉は、聖心布教会の霊性そのものをあらわしており、「あなたをほめ、あなたをたたえ、あなたをあがめます」と続く、聖心を称える祈りの冒頭の句でもあります。この祈りは聖心布教会固有の

祈りで、創立一五〇周年の記念ミサの時に、グレゴリアン調の荘厳なメロディーで歌われたのを記憶されておられる方も多いと思います。この修道会が創立されたのは、無原罪の聖マリアがピオ9世によって、信仰箇条として宣言された日、即ち一八五四年十二月八日のことです。ですから、二〇

